

〈シリーズ：多文化社会 EU を知ろう〉

ドイツにおける難民受入れの現在

— ハレ市の教育現場で出会った人々 —

講師：藤田 恭子

東北大学大学院国際文化研究科多文化共生論講座教授

東部ドイツ、ザクセン=アンハルト州ハレ市。人口24万人弱。日本の地方都市と同様、大都市との格差や産業の衰退による人口減少、そして少子高齢化に悩む町だ。この2年間にシリア難民約4千人を含む、8千人弱の外国人を受け入れた。ハレ市の教育現場での地道な努力とそこで出会った人々の姿から、メディアではなかなか報じられない、多文化社会ドイツの日常の一端を紹介する。



日時：平成29年3月4日(土)

14時～15時30分

場所：東北大学川内北キャンパス

マルチメディア教育研究棟 6階 大ホール
(仙台市営地下鉄東西線川内駅・南2出口すぐ)

お問合せ：kyoko.fujita.e5(at)tohoku.ac.jp (藤田恭子/国際文化研究科)

主催：東北大学高度教養教育開発推進事業プロジェクトチーム

(グローバル共生社会の理解を重視した、高校における非英語外国語教育導入プログラムの開発)

